

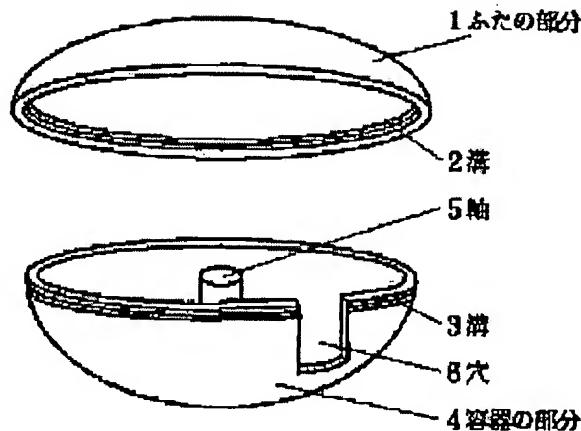
CORD WINDING DEVICE

Patent number: JP5326062
Publication date: 1993-12-10
Inventor: TSUKIKI KAZUNORI
Applicant: TSUKIKI KAZUNORI
Classification:
- international: H01R13/46
- european:
Application number: JP19920168174 19920518
Priority number(s): JP19920168174 19920518

[Report a data error here](#)

Abstract of JP5326062

PURPOSE: To simplify rearranging a surplus cord by receiving a remaining part of the cord to a vessel part. CONSTITUTION: A device comprises a shaft 5 for winding a cord 7, vessel part 4 for storing the cord 7, cover part 1 for closing the part 4 and a hole part 6 for taking out the cord 7 to the outside. By winding a surplus part of the cord 7 to the shaft 5 stored in the vessel part 4 and by taking out the cord 7 from the hole 6 to close the cover part 1, the cord 7 can be used by a suitable length.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-326062

(43)公開日 平成5年(1993)12月10日

(51)Int.Cl.⁵

H 01 R 13/46

識別記号

庁内整理番号

E 7161-5E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号

特願平4-168174

(22)出願日

平成4年(1992)5月18日

(71)出願人 592054971

榎木 和徳

神奈川県座間市東原2丁目9番3号 クリ
オさがみ野伍番館403号

(72)発明者 榎木 和徳

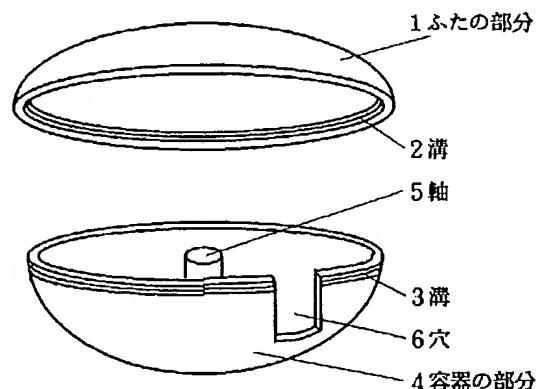
神奈川県大和市中央1丁目3番9号ソレイ
ユヤマト206

(54)【発明の名称】 コード巻き付け器

(57)【要約】

【目的】 ラジカセやテレビなどのコードをコンセントにつないだとき、コードの余った部分を収納できるようにすることを目的とする。

【構成】 コードを巻き付けるための軸を有する部分とその軸に対して閉ループを構成するような形をしたふたの部分からなるものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 閉曲面体で以下の条件を満たす物。

- (1) 表面に穴を有する。
- (2) 内部に軸を有する。
- (3) 2つの部分に分離可能である。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、コードの余った部分を収納するものに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来のコードは、コードをコンセントにつないだときにコードに余った部分ができていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 そのためコードが絡まつたり、余ったコードで部屋の中が雑然となるということがあり、本発明はこのことを解決する事を目的とする。

【0004】

【問題を解決するための手段】 コード(7)を巻き付ける軸(5)とコード(7)を収納する容器の部分(4)と容器の部分(4)を閉じるためのふたの部分(1)とコード(7)を外に取り出すための穴(6)の部分とかなるものである。

【0005】

【作用】 コード(7)の余った部分を軸(5)に巻き付けて容器の部分(4)に収納し、コード(7)を穴(6)から取り出してふたの部分(1)を閉めることに

よって、コード(7)をちょうど良い長さで使用できる。

【0006】

【実施例】 図1において、コード(7)の余った部分を軸(5)に巻き付け容器の部分(4)に収納し、コード(7)を穴(6)となる部分から取り出し、その状態でふたの部分(1)をしめる。ここに於いてふたが簡単にはずれないように、ふたの部分(1)の内側に溝(2)、容器の部分(4)の外側に溝(3)が形成されていて、ふたの部分(1)を回転させて閉めるようになっている。図2にコード(7)を巻き取った時の使用状態図、図3にこの時の断面図を示す。

【0007】

【発明の効果】 余った部分のコードが容器に収納できて、部屋の中がコードで雑然とすることがないし、いつたん収納したコードは簡単に容器から取り出す事ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の斜視図である。

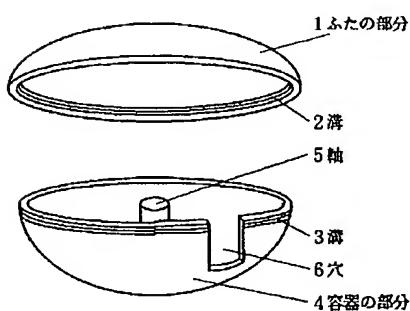
【図2】 本発明の使用状態図である。

【図3】 本発明の断面図である。

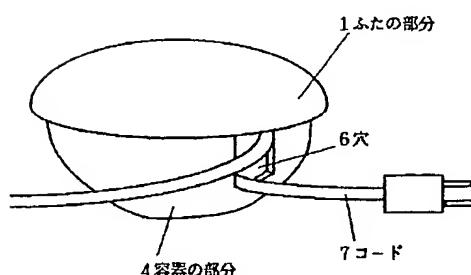
【符号の説明】

1 ふたの部分	2 ふたの溝	3 容器の溝
4 容器の部分	5 軸	6 穴
7 コード		

【図1】



【図2】



【図3】

